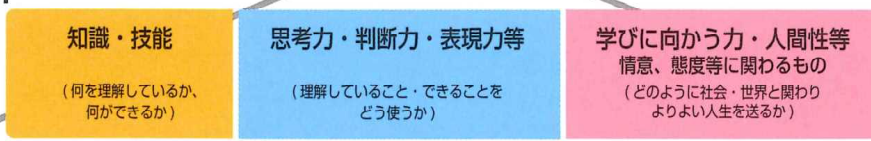


『新』教育・保育要領の考え方

資質・能力の3つの柱



小学校以上

出口

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿〈10の姿〉の出現(を意識)



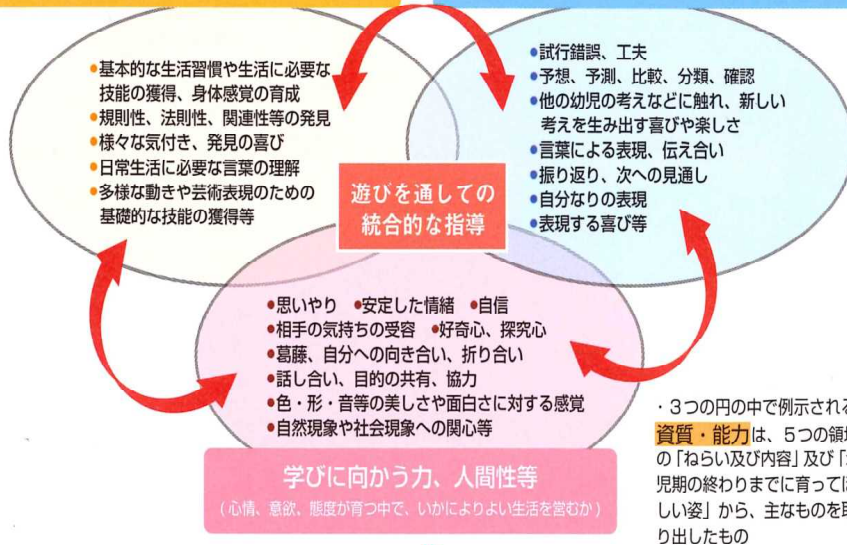
健康・人間関係・環境・言葉・表現の5つの領域の15のねらいの達成

※下に示す資質・能力は例示であり、遊びを通しての総合的な指導を通じて育成される。



幼児教育 3歳以上

へ環境を通して行う教育



幼児教育の見方・考え方・主体的な生活・自発的な遊び・保育者の援助

カリキュラム・マネジメント… 全体的な計画

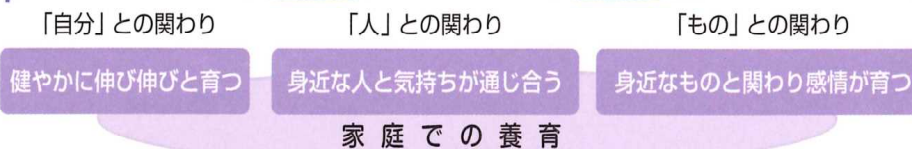
カリキュラム

指導計画など
(子育ての支援も)

養護はすべてにわたるものとして重視
(生命の保持と情緒の安定)

1歳以上3歳未満児のための5つの領域の「ねらい及び内容」等

0歳児では3つの視点を示し、満1歳以降の領域につなぐ



入口

共有

乳児保育からの育ちのつながり